

## 【指標の平成29年度達成状況について】

### 指標① 年間のレファレンス件数

市民の抱える課題の解決や調査・研究、各種の情報提供に寄与するレファレンスに関する指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	10年後の目標値 (2026年度)	
3,842件	3,630件	4,005件		4,600件
達成率	78.9%	87.1%		

### 指標② 市民一人当たりの年間貸出点数

中央図書館の資料がどのくらい利用されているのかを測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	10年後の目標値 (2026年度)	
5.6点	5.4点	5.4点		6.2点
達成率	87.1%	87.1%		

### 指標③ 郷土関係図書の蔵書数

郷土について幅広い知識を深めるために必要な資料の収集を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	10年後の目標値 (2026年度)	
13,869冊	14,114冊	14,709冊		15,300冊
達成率	92.2%	96.1%		

### 指標④ 年間の入館者数

資料の貸出や閲覧、イベントへの参加、レファレンスサービスなど全てを含んだ中央図書館利用の割合を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	10年後の目標値 (2026年度)	
462,083人	455,695人	458,227人		472,000人
達成率	96.5%	97.1%		

### 指標⑤ 年間のイベント等参加者数

中央図書館が主催する各種イベント等の効果を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	10年後の目標値 (2026年度)	
4,386人	3,265人	2,436人		4,900人
達成率	66.6%	49.7%		

### 指標⑥ 図書館館外における読書普及活動の年間実施件数

学校へのお出張おはなし会・ブックトーク等、中央図書館外における読書普及の活動の実績を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	➡	10年後の目標値 (2026年度)
31回	25回	32回		50回
達成率	50.0%	64.0%		

### 指標⑦ 利用者アンケートにおける満足度

中央図書館運営に関する利用者の満足度を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度	➡	10年後の目標値 (2026年度)
79.8%	77.2%	82.2%		毎回 85%以上
達成率	90.8%	96.7%		

### 指標⑧ 年間のホームページ等アクセス件数

市原市立図書館ホームページなどインターネットから情報を発信する利用度・認知度を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	➡	10年後の目標値 (2026年度)
278,286件	266,778件	271,049件		350,000件以上
達成率	76.2%	77.4%		

### 指標⑨ 年間のオンラインデータベース利用件数

情報提供サービスの充実と中央図書館機能の周知を測る指標です。

現状値 (2015年度)	実績 (2016年度)	2017年度 (3月末現在)	➡	10年後の目標値 (2026年度)
210件	437件	541件		1,000件以上
達成率	43.7%	54.1%		

# 図書館サービス計画事業実績評価：平成29年度

評価基準：AA 目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった A 目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた  
B 取り組みを実施したが、十分な成果をあげることができなかった C 未実施

## 基本目標 I 知の情報拠点として市民が活用できる図書館（情報拠点）

### (1) 子ども読書活動の推進

事業No.	事業内容	29年度実績		評価	特記事項(評価がAA、B、Cの場合は理由)
		実施内容	実績(数値)		
1	[子どもとともに取り組む読書活動] ブックリストの作成、イベントの開催など、子どもとともに読書活動に取り組みます。	子ども読書活動推進フォーラムにおいて、ビブリオバトルを開催し、パトラーとして中学生が参加しました。	子ども読書活動推進フォーラム(11月3日) ビブリオバトル ・パトラー 中学生 5人(全パトラー 6人) ・観戦者 153人	AA	
2	[配本サービスの充実] 団体配本を実施していない学校へ、巡回ポイントの拡充を図ります。			C	平成30年度に天井耐震化等工事を実施のため、団体配本の対応は変更となることから、平成29年度での検討はなし
3	[読書手帳の配布] 読書手帳(小学生向け、中学生・高校生向け)を配布し、読書活動の推進を図ります。	読書手帳を、小学生向けは館内で、中学生向けは新1年生に配付しました。	配付数 小学生向け- 393冊 中学生向け- 2,253冊 (平成29年度新中学1年生)	A	
4	[発達段階に応じた図書・資料の充実] 乳幼児・小学生・中学生・高校生と発達段階に応じて、レファレンスしながら、図書や資料の充実を図ります。併せて、子どもの調べ学習や自由研究に役立つ資料の収集を行い、教職員・学校司書・ボランティア団体等に提供していきます。	乳幼児・小学生・中学生・高校生と発達段階に応じて、図書を収集しました。子どもの調べ学習や自由研究に役立つ図書を収集しました。	購入した図書 ・乳幼児一絵本688冊 ・小学生一児童図書(絵本以外)923冊 ・青少年図書一634冊 ・調べ学習用図書一28冊 ・自由研究用図書一16冊	A	

### (2) 郷土資料の収集・保存・活用

事業No.	事業内容	29年度実績		評価	評価がA、C、Dの場合は理由
		実施内容	実績(数値)		
5	[的確な資料提供] 市原ならではのまちづくり活動を実施する団体等への資料、情報、活動機会の提供を行い、的確なレファレンスに努めます。	レファレンスカウンターでの問い合わせの対応、展示や情報の提供活動等において、資料の提供や活動支援を実施しました。 [実施団体] ・認知症サポーターキャラバン・梅ヶ瀬会等	郷土レファレンス件数 434件	A	
6	[郷土・行政資料のデジタル化] 郷土資料の収集・保存するとともに、情報提供の方法として、デジタル化を検討します。	郷土資料の収集・保存を行いました。情報提供の方法として、デジタル化を検討しました。	収集した郷土資料(購入・寄贈)一595冊 広報広聴課と協議し、「広報いちばら」のデジタル化を検討し見積もりを徴取しました。	A	
7	[郷土・行政資料の情報発信] 資料展示コーナーの充実及び、行政サービスに関する市原市の情報発信コーナーの設置します。	資料展示コーナーにおいて、「ふるさと市原に輝く人物コーナー」の展示を実施しました。	酒井登志生展(平成29年3月2日一5月30日)、手島精一展(6月1日一7月27日)、斎藤孝・廣瀬蘆竹展(7月29日一9月28日)、遠山あき生誕100年展(9月30日一11月29日)、深沢幸雄追悼展(12月1日一1月30日)、日高誠賞展(2月7日一3月29日) * 日高誠賞関連資料展(2月17日~3月4日/来場者273人)	A	市原市の情報発信コーナーについては、平成30年度の天井耐震化等工事にあわせて検討。
8	[郷土・行政資料の収集・保存] 地域性のある資料収集の観点から、企業ポスターや、チラシ、歴史や地誌に関する古文書などの資料収集・保存を図ります。	企業ポスターや、チラシ、歴史や地誌に関する古文書などの資料収集に取り組みました。	市内企業に関する「CSR」資料や「チバニアン」に関する資料の収集を行いました。 ※CSR一企業の社会的責任。Corporate Social Responsibilityの略語。企業は、利益追求、法令遵守だけでなく、消費者をはじめ社会全体の多様な要求に対し適切な対応をとる義務があることを示す。	A	

### (3) ビジネス支援サービス

事業No.	事業内容	29年度実績		評価	評価がA、C、Dの場合は理由
		実施内容	実績(数値)		
9	[企業紹介コーナーの設置] 社史、会社案内、製品カタログ等の整備を行い、地元企業紹介コーナーの設置を行います。	企業紹介コーナーを設置しています。	・郷土・行政資料コーナーの一角に「企業紹介コーナー」を設置 ・ビジネス支援コーナーにおいて、企業紹介資料を設置	A	
10	[ビジネス支援レファレンスツールの充実] パスファインダー、ブックリストや、レファレンスの事例集、オンラインデータベース等のビジネス支援ツールを充実させ、的確なレファレンスに努めます。	・パスファインダー・ブックリストの配布 ・レファレンス事例集への登録 ・オンラインデータベースの提供 ・ビジネス関係のチラシ等の配布	レファレンス事例集の登録件数 18件 オンラインデータベース件数 278件(ビジネス支援データベース 5種類) ビジネス支援レファレンス件数 58件	A	
11	[ビジネス支援コーナーの充実] 創業、経営、経理、雇用等のビジネスに関連する資料を収集し、コーナーの充実に努めます。	創業、経営、経理、雇用等のビジネスに関連する資料を収集しました。	購入したビジネスに関する図書一328冊	A	

(4) 医療・健康情報サービス

事業No.	事業内容	29年度実績		評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
		実施内容	実績(数値)	
12	[医療・健康情報の提供] 医療・健康情報の資料・オンラインデータベースを充実させ、情報の提供を行います。	医療・健康情報の資料を収集しました。 オンラインデータベースを提供しました。	購入した医療・健康に関する図書-413冊 オンラインデータベース件数 28件(医中誌web) 医療・健康情報レファレンス件数 169件	A
13	[パスファインダー等の作成] 質問の多いテーマや市民の関心が高いテーマ等について、資料を活用した医療・健康情報のパスファインダーやブックリスト等を作成し提供します。	パスファインダーを配布しました。	・医療・健康に関するパスファインダーを配布 ・ブックリスト(コーナー紹介)「知っていますか 闘病記コーナー」を配布	A
14	[関係機関との連携による医療・健康情報の展示] 市の関係部署や新たに医療関係機関と連携し、医療・健康情報の展示や啓発を行い、的確なレファレンスに努めます。	関係機関と連携し展示・啓発を実施しました。 ・地域包括推進室 ・保健センター ・消防署	[1階展示架] ・保健センター:6月1日~6月29日 世界禁煙デー / 7月29日~8月30日 生活習慣病を予防しよう! 脂肪肝にご用心 / 9月1日~9月27日 がん征圧月間 ・地域包括ケア推進室:12月1日~12月27日 認知症の人と共にあゆむまちづくり [セレクトブックコーナーA] ・五井消防署:9月1日~9月15日 救急の日、救急医療週間	A

(5) 法情報サービス

事業No.	事業内容	29年度実績		評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
		実施内容	実績(数値)	
15	[法律に関する講座の開催] 専門機関や法律の専門家等との連携による講座を開催します。			C 計画期間内での実施予定はありますが、今年の実施はなし
16	[法律情報の提供] 法律関係書、判例、官報等の資料整備や法律情報のオンラインデータベースで最新の情報を提供し、的確なレファレンスに努めます。	法律関係書、判例、官報等を収集しました。 オンラインデータベースを提供しました。	購入した図書等 ・法律関係書-162冊 ・判例-26冊 ・官報 ・県報(寄贈) ・オンラインデータベース件数 36件(D1-Low.com) ・法情報サービスレファレンス件数 52件	A

## 基本目標Ⅱ 人・本・情報の橋渡しをする図書館（学びの拠点）

### (1) 市民に広く図書館機能を知ってもらうための取組

事業No.	事業内容	29年度実績		評価	評価がAA、B、Cの場合は理由
		実施内容	実績(数値)		
17	[中央図書館活用講座の開催] 中央図書館の利用促進を図り、図書館の理解や資料を有効に活用するための活用講座や生涯学習支援のためのいちはら市民大学と連携した講座等を開催します。	市民大学の図書館調べ方講座や専門講座（子育て支援コース）を開催しました。	[市民大学] 教養講座 図書館調べ方講座(受講生:29人) ①11月16日「市原市立中央図書館概要・1冊の本が棚に並ぶまで」26人 ②11月30日「図書館ツアー・利用者開放端末(検索機)を使ってみよう」20人 ③12月14日 本や雑誌・新聞を探してみよう」22人 ④1月25日 国立国会図書館(国際子ども図書館)見学」23人 ⑤2月1日「図書館大活用法(専門図書館紹介)」26人 専門講座 子育て支援コース 9月6日 10人	A	
18	[映画会の開催] 子どもを対象にした「子ども向け映画会」、大人を対象にした「大人のための映画会」を開催し、視聴覚サービスの周知と利用促進に努めます。	子ども向け映画会や大人のための映画会、ティーンズ向け映画会を実施しました。 また、HP・ポスター・ちらし等で積極的に周知しました。	子供向け映画会 10作品 18回上映 422人 大人のため映画会 14作品 26回上映 760人 ティーンズ向け映画会 3作品 4回上映 45人 *新たにティーンズ向け映画会を実施	A	
19	[リサイクルフェアの開催] 中央図書館で不用になった図書・雑誌の有効活用を図るため、団体向け、個人向けにそれぞれ「本と雑誌のリサイクルフェア」を開催します。	中央図書館で不用になった図書・雑誌の有効活用を図るため、団体向け、個人向けにそれぞれ「本と雑誌のリサイクルフェア」を開催しました。	リサイクルフェアで配布した図書等 ・個人向けー図書5,700冊、雑誌1,645冊 ・団体向けー図書1,034冊 小・中学校、高等学校、児童クラブ、保育園、幼稚園、高齢者福祉施設等 計 8,379冊(図書6,734冊、雑誌1,645冊)	A	
20	[特集コーナーなど各種企画展示の実施] 市原市に縁のある、人物、観光、スポーツ等各種の特集コーナーや、時の話題や季節に応じた展示を行うとともに、展示している本のリスト配布など、本との出会いを広めます。	展示架1階2階/セレクトブックコーナーA・B・C/ふるさと市原に輝く人物コーナー/記念展示架/児童室 特設コーナー/児童室 季節の本の展示コーナー などにおいて、各種展示を実施しました。	・展示架 1階 10回 ・展示架 2階 8回 ・セレクトブックコーナーA・B・C 22回 ・ふるさと市原に輝く人物コーナー 6回 ・記念展示架 7回 ・児童室 子育て支援コーナー 3回 / 自由研究特別支援展示 1回 / 季節の本の展示コーナー 12回	A	
21	[子ども向け講座の開催] 図書や中央図書館に親しみを持てるよう、音楽や工作などの体験型講座を開催します。	子ども向けの読書講座やワークショップを開催しました。	・子どもと読書講座 第1回「親子でチャレンジ どくしょかんそうぶんをかいてみよう」 8月8日 参加者 17人(親子8組) 第2回「知ろう!聞こう!やってみよう!たからしげるのなるほど教室」3月17日 参加者 16人	A	
22	[おはなし会の開催] 読書習慣のきっかけとなるよう、子ども向けや大人向けのおはなし会を開催します。	おはなし会(子ども向け/大人向け)を実施しました。	[子ども向けおはなし会] ・おはなし会 実施回数:24回 総参加者数:326人 ・スタンプカード配布数:69枚 [大人向けおはなし会] ・おはなし会 実施回数 1回 5人	A	
23	[子ども読書感想画コンテストの開催] 子どもの関心を高めるため、小学生・中学生から読書感想画を募集し、優秀作品については、館内展示や子ども読書活動推進のために活用します。	市内の小中学校へ「子ども読書感想画コンテスト」の募集を行い、優秀作品については表彰し、図書館いらんど期間中に館内に展示しました。 また、市長賞の作品は子ども読書の日の啓発ポスターとして活用しました。	応募件数 小学校 20校 145作品 中学校 5校 6作品 合計 25校 151作品 啓発ポスター 200枚作成、市内小中学校等へ182枚配布	A	
24	[一般向け講座の開催] 市原の歴史や文化財、また文学や経済などの教養を深める機会の提供として、中央図書館を利用されない人にも中央図書館に関心を持っていただけるように社会の動きや関心の高いテーマなどの各種講座を開催します。	文学講座/いちはらの歴史講座/朗読会/映画会/郷土に関する講演会等を実施しました。	・文学講座・特別講演会 2月21日 京極夏彦氏「書物と妖怪」296人 ・いちはらの歴史講座 11月4日 堀内正貴氏「チバニアンを語る」64人 ・朗読会 10月29日「遠山あき生誕100年展」特別企画・山川建夫朗読会「語りつぎたい遠山あき作品」62人 ・上映会 5月21日「酒井登志生展」特別企画上映会「いちはらの民話」29人 ・共催事業(小湊鉄道(株)) 3月3日 田口佳史氏講演会「時代状況から見た日高誠實」164人 ・新規 記念展示架・特別講演会 5月20日 石川晋平氏「小湊鉄道のあゆみ」62人	AA	
25	[集会室・視聴覚ホールの活用促進] 調べ学習や、読書に係る市民活動を支援するため、集会室・視聴覚ホールの活用促進を図ります。	いちはら文庫・おはなし会連絡協議会等の研修や活動の場として、集会室・視聴覚ホールを活用しました。	・集会室 27回(いちはら文庫・おはなし会連絡協議会等26回、市民大学1回) ・視聴覚ホール8回((いちはら文庫・おはなし会連絡協議会3回、商工会議所1回、市民大学4回)	A	
26	[読書週間イベントの開催] 春の「こども読書週間」に因んだ子ども向けイベントの開催や「秋の読書週間」に一般向けイベントを開催し、中央図書館の魅力をアピールします。	春の読書週間で「いちはらっ子読書フェスタ」及び、秋の読書週間で「図書館いらんど」を、市内各読書施設と連携し、開催しました。	・いちはらっ子読書フェスタの実施 4月23日～5月12日 「ぬいぐるみおとまり会」「おたのしみ袋」「図書館DEビンゴ」 「出発進行!スタンプラリー」等 中央図書館 参加者数 382人 図書館いらんど 10月27日～11月12日まで 「歴史講座」「映画会」「大人のための映画会」等 中央図書館 参加者数 1,042人	A	

基本目標Ⅲ 豊かな心を育む図書館 -学校や関係機関との連携を深める- (ひとつづくりの拠点)

(1) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校との連携によるサービス

事業No.	事業内容	29年度実績		評価	評価がAA、B、Cの場合は理由
		実施内容	実績(数値)		
27	[発達段階に応じた支援] 乳幼児から小学生までの発達段階や日常生活に応じて、資料の収集を行うとともに、教職員との情報交換や、おすすめ本のブックリスト、利用案内の配布などを行い連携の強化を図ります。	・乳幼児から小学生までの発達段階や日常生活に応じて、資料の収集を行いました。 ・11月から、市内小・中学校(私立含む)教職員向けに、月1回新着図書情報の発信を開始しました。 ・新小学1年生へ利用案内を配布しました。 ・調べ学習などの授業等に必要資料の選定相談を受け、提供しました。	購入した図書 ・乳幼児一絵本688冊 ・小学生一児童図書(絵本以外)923冊	A	
28	[学校図書館等との連携] 学習教材や調べ学習に必要な本の選書に限らず、中央図書館職員が、学校での出張おはなし会・ブックトークなど、直接児童・生徒、保護者、教職員との交流を深めることで、読書普及の活動に取り組みます。	・4月に出張おはなし会等の要望調査を行い、その後学校との日程や実施内容等を調整し、出張おはなし会、ブックトークを実施しました。 また、出前講座「おでかけくん」を児童クラブや保育園で実施したほか、子育て支援に関わる団体等に実施しました。 ・学校図書館用図書展示会において、選書のアドバイスを実施しました。	出張おはなし会・ブックトーク等 3校(13回)・302人 おでかけくん 児童クラブ等 7校(7回)・360人  5月9日 学校図書館用図書展示会 7月28日 図書主任研修会  「郷土資料に関するアンケート調査」の結果報告 「子ども読書活動推進のための学校及び学校図書館と中央図書館の連携に関するアンケート」を実施	A	
29	[館内見学や職場体験の受入れ] 中央図書館員の体験を通して、中央図書館を知ってもらい、本の楽しさや、身近に感じてもらえるよう、館内見学や職場体験の受入れ、一日図書館員事業を行います。	4月に職場体験等の要望調査を行い、その後学校との日程や実施内容等を調整し、館内見学の受入れを行いました。	館内見学 小学校1校/幼稚園1園(3回)77人 職場体験 1校(2回)6人 一日図書館員 8月1日～3日 午前・午後(各日2回)47人	A	
30	[子ども読書活動推進支援連絡会議の開催] 教職員、学校司書、中央図書館員等で構成する連絡会議を開催し、読書活動推進の方策を協議します。	子ども読書活動推進支援連絡会議を2回開催しました。	第1回 6月8日開催 議題:市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画・郷土資料のアンケート結果について等 第2回 12月20日開催 議題:調べ学習用図書の貸出について等	A	
31	[児童サービス用品の貸出] 紙芝居の舞台、エプロンシアター等、子どもの読書活動に使用する機材や用品の貸出を行います。	4月から、改正した貸出基準に基づき、児童サービス用品の貸出を行いました。	エプロンシアター 44点 パネルシアターステージ 3点 紙芝居舞台 11台 パペット 3点	A	

(2) 中学校や高等学校との連携によるサービス

事業No.	事業内容	29年度実績		評価	評価がAA、B、Cの場合は理由
		実施内容	実績(数値)		
32	[中学生・高校生向け講座等の実施] 読書への関心や興味を引き出す出前講座の実施や中学生・高校生が参加する芸術・文化イベントの検討を行います。	・子ども読書活動推進フォーラムにおいて、ビブリオバトルを開催し、パトラーとして中学生が参加しました。	・ビブリオバトル パトラー 中学生 5人(全パトラー 6人) 観戦者 153人	A	
(再掲) 1	[子どもとともに取り組む読書活動] ブックリストの作成、イベントの開催など、子どもとともに読書活動に取り組みます。	・子ども読書活動推進フォーラムにおいて、ビブリオバトルを開催し、パトラーとして中学生が参加しました。 ・職場体験において、POPの作成を実施しました。	・ビブリオバトル パトラー 中学生 5人(全パトラー 6人) 観戦者 153人 ・職場体験にてPOPの作成	AA	
33	[ティーンズコーナーの充実と広報] ティーンズコーナーの図書の充実を図るとともに、おすすめ本のリストや、中学生・高校生向けの情報誌の発行を行います。	ティーンズ向けの図書を収集しました。 ブックリストを発行しました。	・購入した図書 青少年図書-634冊 ・ブックリスト1回発行	A	
(再掲) 28	[学校図書館等との連携] 学習教材や調べ学習に必要な本の選書に限らず、中央図書館職員が、学校での出張おはなし会・ブックトークなど、直接児童・生徒、保護者、教職員との交流を深めることで、読書普及の活動に取り組みます。	・学校図書館用図書展示会において、選書のアドバイスを実施しました。 ・中学校で取り組んで作成したPOPを、中央図書館で紹介展示しました。	・5月9日 学校図書館用図書展示会 ・八幡東中学校 POP作品展示 展示期間:平成30年2月7日～2月18日	A	
34	[職場体験やインターンシップの受入れ] 図書館員の体験を通して、本の楽しさや、身近に感じてもらえるよう中学生の職場体験や高校生が就業体験を行えるインターンシップの受入れを行います。	4月に職場体験等の要望調査を行い、その後学校との日程や実施内容等を調整し、中学生の職場体験や高校生のインターンシップの受入れを行いました。	職場体験 4校(延8日)11人 インターンシップ 3校(延8日)6人	A	

(3) 地域との連携や、読書ボランティアの活用によるサービス

事業No.	事業内容	実施内容	29年度実績	
			実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
35	[読書ボランティアとの協働の場の拡充] 読書ボランティア人材バンク制度を活用し、ブックスタートや読み聞かせフロアワーク、本の修理、各イベントに連携して取り組むとともに、図書館サービスのサポートなどボランティアとの協働の場を拡充していきます。	ブックスタート、本の修理、おはなし会など各種事業を読書ボランティアと連携して取り組みました。 また、講座、展示等の行事の受付や読書手帳の作成、利用者アンケート等で協力していただきました。	登録者数:139人 活動者数:466人 【内訳】ブックスタート:282人、図書修理:60人、おはなし会:22人、読み聞かせフロアワーク:18人、対面朗読:9人、読書手帳の作成:7人、利用者アンケート:15人、行事等の受付:53人	A
36	[読書ボランティアの養成] 図書修理や読み聞かせ、障がい者支援など知識や技能が求められる活動についての研修、スキルアップ講座を開催します。	読書ボランティア人材バンクに登録している方を対象に、ボランティア活動に必要な知識・技能を習得するための講習会を実施しました。	ブックスタート研修 2回13人 音訳者研修 4回延べ76人	A
37	[地域の文庫会等の連携] 地域で活躍する団体への出前講座の実施や、団体貸出の案内や情報提供を行います。	・「おでかけくん」を利用した「おはなし会のコツについて」などの講座の実施や、出張おはなし会の実施しました。 ・地域で読書活動している団体へ、読書会用の図書を貸し出しました。 ・子ども読書活動推進フォーラムにおいて、実行委員として地域の文庫会から参加していただきました。	おでかけくん 1団体(1回)140人 出張おはなし会 1団体(1回)17人 読書会 2団体(資料提供) 子ども読書活動推進フォーラム 実行委員 2人	A

(4) 関係機関との連携によるサービス

事業No.	事業内容	実施内容	29年度実績	
			実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
38	[地域関連機関との連携] 医療関係機関や保健所、法律関係機関、商工会議所、ハローワーク、観光協会などと連携し、講演会や展示などの検討、専門図書等の情報収集や提供を行います。また、連携する関係機関の拡大を図ります。	・各種関係機関での事業において、図書館利用及び資料の案内・展示等を実施しました。 ・関係機関と連携し、講演会を実施しました。	8月19日 ちば起業家交流会in市原(商工業振興課) 図書館ブースの設置 9月2日 「起業家養成セミナー」(五井公民館・市原商工会議所共催) 図書館案内・資料提供 10月11日 「子育てお母さんの再就職セミナー」(商工業振興課) 図書館案内・資料提供 10月21日 「いちばら創業スクール」(商工業振興課・市原商工会議所共催) 全5回のうちの1回を中央図書館で実施 5月20日 記念特別講演会「小湊鐵道のあゆみ」(小湊鉄道との連携) 3月3日 特別講演会「時代状況から見た日高誠實」(小湊鉄道との連携)	AA
39	[点字図書館等との連携] 点字図書館等と連携して、障がい者サービスの拡充を図ります。	・「視覚障害者総合支援センターちば」が主催する「第5回視覚障害者サービス担当研修会」に参加しました。 ・サビエに団体登録し、サービスを提供しています。	・研修1回	A
40	[雑誌スポンサー制度を活用した企業連携] 雑誌スポンサー制度により、民間企業の力を活用し、中央図書館における雑誌数の拡充を図ります。また、企業においては、公共の場での広告事業として、連携を深めます。	利用者に提供する雑誌の購入代金を、企業、商店等に負担していただき、雑誌のカバー及び雑誌用の書棚の扉に広告を掲載する「雑誌スポンサー制度」を実施しています。 図書館ホームページ、広報いちばらへの募集記事を掲載や企業等を訪問し、制度の周知を図りました。	雑誌スポンサー数:1社3誌	A スポンサーの増加に向け、引き続き、制度の周知に努めます。
41	[市関係部局との連携] 行政に関係する資料をはじめ、業務上必要となる庁内レファレンスの拡充や、関係各課と連携した講座やイベントなどを開催します。	市関係部局からの調査に対して、資料・情報の提供を行いました。また、各関係部署での事業において、図書館利用及び資料の案内・展示等を実施しました。 ・新規採用職員 ・商工業振興課 ・ふるさと文化課 等	庁内向けレファレンス件数 23件 6月3日 「いちばら未来トーク」(総合計画推進課) 図書館案内・資料提供 8月19日 ちば起業家交流会in市原(商工業振興課) 図書館ブースの設置 9月2日 「起業家養成セミナー」(五井公民館・市原商工会議所共催) 図書館案内・資料提供 10月11日 「子育てお母さんの再就職セミナー」(商工業振興課) 図書館案内・資料提供 10月21日 「いちばら創業スクール」(商工業振興課・市原商工会議所共催) 全5回のうちの1回を中央図書館で実施 12月1日～1月30日 深沢幸雄追悼展(ふるさと文化課 湖畔美術館等と連携) 8月5日 「いちばらフルーツフェスティバル2017」(農林業振興課)ブックリスト配布	A

(5) 公民館・コミュニティセンターの図書室との連携によるサービス

事業No.	事業内容	実施内容	29年度実績	
			実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
42	[公民館・コミュニティセンターの図書室との連携] 中央図書館と公民館・コミュニティセンターの図書室との連携を深め、より効果的な読書活動の推進に努めます。	・春と秋の読書週間において、市内全域での読書普及のため連携してイベントを実施しました。 ・図書担当者会議及び業務PC内での連絡フォルダにおいて、中央図書館と公民館・コミュニティセンターで情報の共有を図りました。また、図書担当者会議において研修を実施しました。	・担当者会議 5回 ・研修4回(整理1回 奉仕3回) ・「予約多数図書」「文学賞受賞作」等の情報共有(発信)ー随時 ・いちばらっ子読書フェスタ 参加者数 1,578人(連携事業全施設) ・図書館いらんど 参加者数 1,563人(連携事業全施設)	A

(6)大学との連携によるサービス

事業No.	事業内容	29年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
43	[大学との連携] 司書資格の取得や職業意識の向上に資するため、大学生の司書課程実習、インターンシップの受け入れを行います。また、図書館を備えた近隣大学等との連携の拡充を図ります。	・帝京平成大学との連携により、大学の利用案内を配布しました。 ・子ども福祉課で実施している、帝京平成大学地域医療学部看護学科の学生による子育て支援事業への協力を行いました。	帝京平成大学地域医療学部看護学科の学生による子育て支援事業で利用する絵本の紹介	A

基本目標Ⅳ みんなにやさしい図書館（快適で便利な拠点）

(1)館内環境の整備

事業No.	事業内容	29年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
44	[自動販売機の設置検討] 中央図書館には、冷水器を設置しておりますが、給水手段の拡充として、自動販売機の設置を検討します。			C 平成28年度利用者アンケートでは、飲食スペースの提供を要望する声も多いことから、今後の検討課題とします。
45	[乳児・幼児用スペースの整備] 授乳場所の確保や、ベビーカーの設置など子育て世代が、利用しやすい館内環境づくりを行います。	利用者からの希望があった際に、対面朗読室を授乳場所として利用しました。	授乳スペースの利用:通年	A
46	[バリアフリーに配慮した整備] 弱視者への案内表示、誘導ブロックの設置などバリアフリー化を図ります。	視覚に障がいのある方が、安全に通行できるように、図書館の敷地内に誘導ブロックを敷設しました。	10月 誘導ブロックの敷設	A
47	[適切な施設の保全] 利用者が安全・安心に施設を利用できるように計画的な改修工事を行います。	利用者の安全を図るため、平成30年度に実施する1階アトリウム部分の天井耐震化工事に向けて、準備を進めました。	天井耐震化工事のための設計	A
48	[レイアウトの変更] 見やすく調べやすい、読みやすい書架の配架や椅子の配置など、過ごしやすい空間を提供します。	書架のレイアウトを変更しました。	ティーンズ書架	A



(2) 利用者のニーズに合わせたサービス

事業No.	事業内容	29年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
49	[来館困難者へのサービス] 読書施設への来館が困難な人のため、読書施設以外での資料の受け取りや返却ボックスの設置などを検討します。			C 平成28年度利用者アンケートでは駅などへの返却ポストの設置を要望する声もあることから、今後の検討課題とします。
50	[開館時間・開館日数の拡充] 開館時間や開館日数の拡充を検討するなど、より充実したサービスの向上を図ります。	4月から水・金曜日の夜間開館時に、レファレンスカウンターに司書の資格を持った職員を配置し、読書相談などのレファレンスサービスの充実に努めました。	夜間開館 水曜日/金曜日	A
51	[高齢者サービスの充実] 大活字本の収集・提供、拡大読書器の利用促進、出張おはなし会や映画会の開催など中央図書館を利用する機会の提供を図ります。	・大活字本の収集を行いました。 ・拡大読書器を設置しています。	購入した図書等 ・大活字本-93冊 ・高齢者向け紙芝居-16点	A
52	[子育て世代へのサービスの充実] 幼児向け集団健診時に、絵本の読み聞かせを体験するブックスタート事業実施します。また、幼児向けのおはなし会の実施や子育て支援コーナーの充実を図ります。	・1歳6ヶ月児健診を受診した子どもと保護者に読み聞かせを行い、本の大切さや楽しさを伝えながら絵本を無償で配布するブックスタートを読書ボランティアの協力を得て実施しました。 ・おはなし会を実施しました。 ・子育て支援コーナーを設置しています。	ブックスタート 市内4会場で56回実施、1,940組参加 購入した図書 ・子育て支援-192冊 おはなし会 24回 326人参加 子育て支援コーナー 6月、9月、2月に児童室に設置	A
53	[多文化サービスの提供] 多言語による絵本の読み聞かせや他国の文化を知るための本の紹介など、外国文化に親しむサービスを実施します。	・外国語図書として、外国籍の市民や外国文化で育った人のため、また他国の文化を知るための本を購入しました。 ・外国文化に親しむためのおはなし会を実施しています。	購入した図書 ・外国語一般図書-51冊 ・外国語児童図書-21冊 外国文化に親しむためのおはなし会 1回18人	A
54	[障がい者サービスの充実] 録音図書、DAISY図書、サピエ図書館によるDAISY図書の提供、拡大読書器、対面朗読サービスの広報を行い、利用の拡大を図ります。また、障がいを持つ子どもの読書活動を支援するため、さわる絵本・布の絵本等の整備を図ります。	・録音図書、DAISY図書、さわる絵本・布の絵本等を購入しました。 ・拡大読書器を設置しています。 ・「広報いちばら」「ようこそ図書館へ」コーナーへの掲載をしました。	購入した資料 ・録音図書(DAISY図書)-14点 ・さわる絵本-1冊 貸出した資料 ・音声DAISY-581点 ・録音テープ-107タイトル 対面朗読実施回数-9回 「広報いちばら」-ようこそ図書館へ P2-9月15日号	A
55	[市民ニーズの把握] 疑問や要望について、「図書館へちょっと一言」として、常時、受け付けます。また市民の満足度を継続的に把握するため利用者アンケートを実施します。	第1フロア入口付近に「図書館へちょっと一言」の記載台及び投函箱を設置し、要望等を受け付けています。また、利用者を対象としたアンケートを実施しました。	図書館へちょっと一言-22件 利用者アンケート 3月4日~10日(6日間) 配布数:480件、回答数:464件、回収率:96.7%	A
56	[外国人向けサービスの充実] 多様な分野の外国語資料や、外国語絵本の整備を図り、また、日本語学習のための参考資料やガイドブックなど、ニーズに応える資料の収集・提供を図ります。	多様な分野の外国語資料や、外国語絵本の整備を図り、また、日本語学習のための参考資料やガイドブックなど、ニーズに応える資料の収集・提供を図ります。	購入した図書 ・外国語一般図書-51冊 ・外国語児童図書-21冊(全て絵本) 外国語の利用案内(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語) ・雑誌-3誌 ・新聞-3紙	A

(3) ICTを活用したサービス

事業No.	事業内容	29年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
57	[オンラインデータベース利用講座] 中央図書館で利用できるオンラインデータベースの使い方などの講座を実施します。	市民大学において、データベースの使い方などの案内を実施しました。	市民大学 3回目 12月14日「本や雑誌・新聞を探してみよう」22人	A
58	[電子書籍の導入検討] 電子書籍は、音声出力や文字の拡大等が可能なため、高齢者や障がい者などのサービス向上につながることから、調査研究し、資料提供のあり方を検討します。	電子書籍は、音声出力や文字の拡大等が可能なため、高齢者や障がい者などのサービス向上につながることから、調査研究を行いました。	代金支払後であってもサービス提供元の都合で一方的に電子書籍が削除され、利用できなくなる等の問題の解決が図られていないため、導入には至りませんでした。	A
59	[インターネット利用環境の充実] 利用者が、調査・研究を効率的に行えるよう、Wi-Fi(無線LAN)環境の整備や、利用状況に応じた閲覧用パソコンの増設を検討します。	利用者開放パソコン席の有線LANを、無線LANルーターでWi-Fiに変換し使用できるよう、検討しました。	今後、利用者開放パソコン席での無線LANルーターによるWi-Fi運用方法を検討し、実施の予定。	A
60	[市原市立図書館ホームページ等の充実] 市原市立図書館ホームページ等の便利で利用しやすい情報発信を図ります。	・ホームページで図書館事業の情報発信をしました。 ・ホームページに学校の先生向けのページを開設しました。	学校の先生向けのページ 3月15日開設	A
61	[図書館システムの充実] 蔵書検索の抽出項目、文字の大きさなどを検討し、利用者の利便性が高いシステムを導入します。	レファレンスの充実のため、業務用端末で資料区分による絞込検索ができるようになりました。	検索方法の改善 9月より実施	A

(4) 地域情報・市の発行チラシの情報発信

事業No.	事業内容	29年度実績		
		実施内容	実績(数値)	評価 評価がAA、B、Cの場合は理由
62	[地域情報・市の発行チラシによる情報発信] 地域情報誌をはじめ、地域における課題解決の参考となる情報の発信を行うとともに、市で発行しているチラシやポスターを配布し幅広く広報に努めます。	公民館・コミュニティセンターの情報をはじめ、市で行う行事についてのチラシやポスターを掲示して、情報の発信を行いました。	地域情報発信コーナーを設置	A
63	[市原市立中央図書館報「こすもす」による情報の発信] 館報「こすもす」により、中央図書館情報の認知度を高めるため、PTAや商業施設等での配布を検討し、発行部数や発行回数の拡大に努めます。	図書館報誌「こすもす」を年4回発行及び図書館ホームページに掲載し、情報の発信を行った。 また、7月から「広報いちばら」の毎月15日号に図書館コーナーを設置し、「ようこそ図書館へ」の記事を掲載し、子育て支援、医療・健康情報等の提供について広報しました。	「こすもす」 年4回発行・毎月1,300部 公民館、コミュニティセンター、支所、市内小中学校、県内公共図書館等301か所に配布	A 発行部数や発行回数 の拡大については、今後の検討課題とします。